

令和2年度

税務課 事務報告

税 務 係

税務係

税務行政の原則は、税行政の円滑な運営及び公平・公正に課税することであり、納税者に対し理解と信頼を得ることが不可欠である。そのことから窓口利用者への適切な対応を心掛け、複雑・難解な各種税法をよく理解し、広報・ケーブルテレビ等により納税者に判りやすい広報活動を行い、納税に対する理解や意識向上に努めた。

滞納者に対しては、納税相談による納税計画の作成・誓約、定期的な臨戸訪問による納税催告、県との共同催告を行うとともに、これまで県及び1市4村間の併任徴収の実施を行ったが、令和元年度より奥球磨地区の4町1村とも併任徴収の業務提携を行い、より高額滞納者に対する滞納処分、納税意識の向上に努めた。

また今年度は、新型コロナウイルス感染症による収入減に対する国保税の減免、令和2年7月豪雨災害による住家被害認定調査、り災証明書等の発行や災害減免条例等の改正をおこない、適正な賦課更正処理に努めた。その他にも租税教育として、村内小学校において租税教室を行い、児童への税知識の向上を図った。

時期的に集中する煩雑な税業務については、税情報管理システムにより、効率的で的確な事務処理に努めた。

1. 村民税

【個人】

国は現下の経済情勢等を踏まえ、地方創生に取り組みさまざまな政策を打ち出してきた。その成果として前年度と比較して若干の調定額の上昇は見られるものの、個人所得の増加には繋がっていない状況である。課税については各種所得の把握を行うために、各事業主等の協力を得ながら関係機関を通じて所得の調査や各種の資料収集を実施し、正確な数値の把握に努めた。また、令和2年7月豪雨災害による減免の処理も行った。

農業所得の把握については、農林産物の売上調査を行い、収支計算方式による納税申告を実施した。

確定申告では、事務効率のため電算処理を行い、住民へのe-Taxでの申告の推進、事務の効率化と正確性を実現し、適正な申告事務を行った。また、本年度は新型コロナウイルス感染予防対策として、白色事業所得者への収支内訳書の送付、事前申告の実施、会場を役場1か所に集中しておこなった。

●個人住民税税率

税率については、平成26年度より10年間、東日本大震災からの復興を図ることを目的として、村民税・県民税それぞれ500円の上乗せが法律で定められている。

| 平成26年度以降 | | |
|----------|--------|-----|
| | 均等割 | 所得割 |
| 村民税 | 3,500円 | 6% |
| 県民税 | 2,000円 | 4% |
| 計 | 5,500円 | 10% |

◎個人村民税の収納状況

(単位：円・%) () 内は前年度

| 項目 | 調定額 | 収入済額 | 不能欠損額 | 収入未済額 | 収納率 |
|-------|----------------------------|----------------------------|---------------------|--------------------------|----------------|
| 現年課税分 | 85,407,720 (83,083,152) | 84,413,532 (82,618,391) | 0 (0) | 994,188 (464,761) | 98.8 (99.4) |
| 滞納繰越分 | 2,656,957 (3,092,943) | 820,714 (849,426) | 453,624 (50,947) | 1,382,619 (2,192,570) | 30.8 (27.4) |
| 合計 | 88,064,677 (86,176,095) | 85,234,246 (83,467,817) | 453,624 (50,947) | 2,376,807 (2,657,331) | 96.7 (96.8) |

◎令和2年7月豪雨災害による個人村民税の減免

以下の基準及び対象により減免をおこなった。

【減免基準】※①～④のいずれかに該当

- ①災害により死亡または生活扶助、障害者認定を受けた者
- ②合計所得金額が1,000万円以下で居住している家屋のり災判定が半壊以上の者
- ③合計所得金額が1,000万円以下で所有している家屋・家財の被害が価格の10分の2以上の者
- ④合計所得金額が1,000万円以下で農作物の損失額が平年農業収入の10分の3以上であり、農業所得分の所得割額がある者（農業以外の合計所得が400万円を超える場合は除く）

【減免対象税額】令和2年7月4日以降に納期限が到来する令和2年度課税額

| | 全壊 | 大規模半壊 | 半壊 | 計 |
|------|----------|---------|----------|----------|
| 対象者数 | 14名 | 2名 | 7名 | 23名 |
| 減免割合 | 10/10 | 3/4 | 1/2 | |
| 減免額 | 488,500円 | 40,500円 | 107,200円 | 636,200円 |

【法人】

法人住民税については、新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨災害の影響により、前年度と比較して約200万円の減収となった。(48事業所)

●法人住民税税率

・均等割

| 法人等の資本金等の額の区分 | 村内従業者数 | 税 額 |
|-------------------|--------|------------|
| 1千万円以下のもの | 50人以下 | 50,000円 |
| | 50人超 | 120,000円 |
| 1千万円を超え、1億円以下のもの | 50人以下 | 130,000円 |
| | 50人超 | 150,000円 |
| 1億円を超え、10億円以下のもの | 50人以下 | 160,000円 |
| | 50人超 | 400,000円 |
| 10億円を超え、50億円以下のもの | 50人以下 | 410,000円 |
| | 50人超 | 1,750,000円 |
| 50億円を超えるもの | 50人以下 | 410,000円 |
| | 50人超 | 3,000,000円 |

・法人税割

| | | |
|----------|----------|-----------|
| 資本金等の額 | 課税標準額 | 令和元年10月以降 |
| 1億円未満の法人 | 年500万円未満 | 6.0% |

◎法人住民税収納状況

(単位：円・%) ()内は前年度

| 項目 | 調定額 | 収入済額 | 収入未済額 | 収納率 |
|-------|---------------------------|---------------------------|----------------|-----------------|
| 現年課税分 | 9,621,900 (11,437,500) | 9,432,400 (11,437,500) | 189,500 (0) | 98.0 (100.0) |

2. 固定資産税

固定資産税では、普遍的に所在する土地、家屋、償却資産に対して自治体のサービスに資するために応益的に課税するものであり、固定資産それぞれの評価額に応じて適正に賦課徴収を行った。

税徴収の面では、滞納整理の成果もあり若干ではあるが収入未済額は減少傾向にある。

課税台帳の整備については、地籍調査事業の完了に伴い、登記関係の異動処理等に努めた。

家屋評価については、建築様式や材質が多様化し、専門的な知識が要求されるため、職員研修を受講し、資質の向上に努めた。また、課税明細書の通知により納税者の理解と納税意識の高揚に努めた。

◎令和2年度家屋評価件数

()内は前年度

| 用途区分 | 新築・増築 | 件数 |
|----------------|-------|--------|
| 専用住宅用建物(木造) | 新築 | 7(6) |
| 専用住宅用建物(軽量鉄骨造) | 新築 | 1(0) |
| 専用住宅用建物(木造) | 増築 | 1(1) |
| 附属屋用建物(木造) | 新築 | 0(5) |
| 倉庫(木造) | 新築 | 1(0) |
| 倉庫(軽量鉄骨造) | 新築 | 0(2) |
| 工場用建物(木造) | 増築 | 2(0) |
| 工場用建物(鉄骨造) | 増築 | 1(0) |
| 合計 | | 13(14) |

●固定資産税＝課税標準額×1.4% (税率)

●免税点：土地 30万円、家屋 20万円、償却資産 150万円

◎固定資産税の収納状況

(単位：円・%) ()内は前年度

| 項目 | 調定額 | 収入済額 | 不能欠損額 | 収入未済額 | 収納率 |
|------|----------------------------|----------------------------|----------|--------------------|----------------|
| 現年度分 | 96,279,800 (98,794,600) | 95,699,886 (98,128,924) | 0 (0) | 579,914 665,676 | 99.3 (99.3) |

| | | | | | |
|-------|------------------------------|----------------------------|----------------------|--------------------------|----------------|
| 滞納繰越分 | 6,786,017 (6,968,532) | 1,313,535 (658,491) | 392,726 (189,700) | 5,079,756 (6,120,341) | 19.3 (9.4) |
| 計 | 103,065,817 (105,763,132) | 97,013,421 (98,787,415) | 392,726 (189,700) | 5,659,670 (6,786,017) | 94.1 (93.4) |

◎固定資産評価審査委員（任期：3年）

| 役職名 | 氏名 | 就任年月日 |
|-----|-------|--------|
| 委員長 | 平山 宣計 | R2.4.1 |
| 委員 | 赤坂 道代 | R2.7.1 |
| 委員 | 欠員 | |

◎固定資産評価員

| 役職名 | 氏名 | 就任年月日 |
|-----|------|-----------|
| 委員 | 山口 明 | H28.07.01 |

◎令和2年7月豪雨災害による住家被害認定調査及びり災証明書交付の実施

災害発生後に家屋の被害状況について県説明会参加後に一次調査を実施し、被害認定及びり災証明書の交付をおこなった。

●調査日（10日間）：令和2年7月10日

令和2年7月13日～令和2年7月17日

令和2年7月20日～令和2年7月21日

令和2年8月7日、令和2年8月11日

（なお、7/13～7/17の期間は岡山県からの災害派遣チーム及び会計室と合同で調査）

| | |
|-------|------|
| 調査件数 | 210件 |
| 【内訳】 | |
| 全壊 | 11件 |
| 大規模半壊 | 6件 |
| 半壊 | 9件 |
| 準半壊 | 0件 |
| 一部損壊 | 19件 |
| 被害なし | 165件 |

●り災証明書申請交付：令和2年7月20日～令和3年3月31日

| | |
|--------|-----|
| 申請件数 | 43件 |
| 交付件数 | 43件 |
| 【交付内訳】 | |
| 全壊 | 11件 |
| 大規模半壊 | 6件 |
| 半壊 | 8件 |
| 準半壊 | 0件 |

| | |
|------|------|
| 一部損壊 | 18 件 |
|------|------|

◎令和 2 年 7 月豪雨災害による固定資産税の減免

土地及び家屋の被害状況により減免が発生する対象者に対し、減免をおこなった。

●土地（農地・宅地）

| 損害の程度 | 軽減又は免除の割合 |
|----------------------------|-----------|
| 被害面積 10 分の 8 以上 | 全部 |
| 被害面積 10 分の 6 以上 10 分の 8 未満 | 10 分の 8 |
| 被害面積 10 分の 4 以上 10 分の 6 未満 | 10 分の 6 |
| 被害面積 10 分の 2 以上 10 分の 4 未満 | 10 分の 4 |

●家屋

| 損害の程度 | 軽減又は免除の割合 |
|-------|-----------|
| 全壊 | 全部 |
| 大規模半壊 | 10 分の 8 |
| 半壊 | 10 分の 6 |
| 準半壊 | 10 分の 4 |

●減免額

| | 筆及び棟数 | 対象者 | 減免額 |
|----|-------|-----|-----------|
| 土地 | 67 | 32 | 115,700 円 |
| 家屋 | 36 | 15 | 241,600 円 |
| 計 | 103 | 47 | 357,300 円 |

◎地籍の管理

地籍調査について本村の地籍調査事業は、昭和 5 6 年に着手して既に 3 9 年を経過し、総面積 1 2 1 . 2 0 k m²のうち国有林及び土地改良事業区域を除外した 1 0 7 . 0 9 k m²が調査対象面積で、調査事業費 6 8 4 , 6 5 2 千円を費やし平成 1 9 年度に現地調査が完了した。

調査後の認証手続、法務局の公図、登記簿の書き換えがすべて完了したため、平成 2 4 年度評価替えに併せて、地籍調査後の新面積により課税している。

また、字図の更新については毎年、分合筆等による変動があった分について修正を行っている。現地において基準点（三角点・多角点）の消失又は埋没等については、随時復元等の管理を行っている。

3. 軽自動車税

軽自動車税は、原付 1 種の廃車台数の増加、転出等による軽四輪乗用の減少により前年度より登録台数は 4 1 台の減となったが、軽四輪乗用の新税率分の増加により、前年度より 1 4 5 , 4 0 0 円の増となった。また現年度分の収納率については、2 年ぶりに 1 0 0 % を達成した。

◎軽自動車税の収納状況

(単位：円・%)

()内は前年度

| 項目 | 調定額 | 収入済額 | 不能欠損額 | 収入未済額 | 収納率 |
|-------|----------------------------|----------------------------|-------------------|---------------------|-----------------|
| 現年度分 | 13,906,600 (13,761,200) | 13,906,600 (13,756,222) | 0 (0) | 0 (4,978) | 100.0 (99.9) |
| 滞納繰越分 | 112,518 (129,900) | 16,078 (15,160) | 23,200 (7,200) | 73,240 (107,540) | 14.2 (11.6) |
| 計 | 14,019,118 (13,891,100) | 13,922,678 (13,771,382) | 23,200 (7,200) | 73,240 (112,518) | 99.3 (99.1) |

◎軽自動車の調定状況【減免含む】(令和2年度)

(単位：台・円)

| 種別 | 登録台数 | 年税額 | 種別 | 登録台数 | 年税額 |
|--------------|------|-----------------|------------|------|------------------|
| 原付第一種(50cc) | 175 | 2,000 | 四輪特殊(自家) | 2 | 4,000～ 6,000 |
| 原付第二種(90cc) | 14 | 2,000 | 四輪乗用(自家) | 987 | 5,400～ 12,900 |
| 原付第二種(125cc) | 13 | 2,400 | 農耕作業用 | 212 | 2,400 |
| 原付ミニカー | 5 | 3,700 | 小型特殊 | 11 | 5,900 |
| 軽二輪 | 61 | 3,600 | 小型二輪 | 45 | 6,000 |
| 四輪貨物(自家) | 629 | 3,800～ 6,000 | 合計 2,154 台 | | |
| 四輪貨物(営業) | 0 | 3,000 | | | |

4. 市町村たばこ税

市町村たばこ税は、新型コロナウイルス感染症による店舗集客の減少で、令和2年度においては前年度より約100万円の減収となった。

安定した税収確保のため、村内購入啓発マッチを製作し、庁舎やたばこ取扱店等に配布。

◎市町村たばこ税収納内訳

(単位：円・本) ()内は前年度

| 会社種別 | 税額 | 販売本数 |
|---------------|----------------------------|--------------------------|
| 日本たばこ産業(株) | 7,941,993 (8,853,572) | 1,353,459 (1,577,974) |
| T S ネットワーク(株) | 7,870,027 (8,024,284) | 1,338,201 (1,409,748) |
| 手持品課税分 | 27,304 (1,319) | 63,500 (780) |
| 合計 | 15,839,324 (16,879,175) | 2,755,160 (2,988,502) |

5. 入湯税

入湯税は、平成15年度より山江温泉「ほたる」の宿泊客から大人1人150円を課税徴収している。今年度は新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨災害の影響による宿泊客の減少に伴い107,900円の減収となった。

また、目的税である入湯税の用途周知プレートを作成し、山江温泉ほたるの宿泊棟に設置し利

用者への周知に努めた。

◎入湯税収納内訳

(単位：円・%・人) () 内は前年度

| 項目 | 調定額 | 収入済額 | 収納率 | 利用客 |
|-------|----------------------|----------------------|--------------|------------------|
| 現年課税分 | 487,950 (594,900) | 487,950 (594,900) | 100 (100) | 3,253 (3,966) |

6. 国民健康保険税

平成30年度より国保財政運営が県へ移行したことに伴い、県への納付金及び標準税率の提示に基づいて、毎年税率を見直すこととなった。本年度は基金積立保有金額が7,000万円あることから、税率は据え置きとしている。また、被保険者を取り巻く社会情勢等を鑑み、国の財政支援（災害臨時特例交付金、特別調整交付金）を受けて新たに減免制度を設け、適正な課税事務に努めた。

◎非自発的失業者に係る減免（平成22年4月から適用）

非自発的失業（倒産・解雇などによる離職や雇止などによる離職）の被保険者について、給与所得を100分の30に減額して保険税を計算し減免をおこなった。

○軽減期間 取得日の属する月からその月の属する年度の翌年度末まで

◎減免件数及び減免額 6件 513,600円

◎新型コロナウイルス感染症に係る減免

新型コロナウイルス感染症による死亡、重篤な傷病、または影響により一定程度収入が減少した世帯に対し、所得に応じて減免をおこなった。

○軽減期間 平成31年度10期(令和2年2月納期分)から令和2年度10期(令和3年2月納期分)

◎減免件数および減免額 11件 2,871,000円

(令和元年度分315,700円、令和2年度分2,555,300円)

財政支援：災害臨時特例交付金6割、特別調整交付金4割

◎令和2年7月豪雨災害に係る減免

令和2年7月豪雨災害による死亡、重篤な傷病、またはその影響による収入の減少、家屋の被害状況により令和2年7月4日以降に納期限が到来する令和2年度分の税額に対し、減免処理をおこなった。

○軽減期間 令和2年度4期(令和2年7月納期分)から令和2年度10期(令和3年2月納期分)

◎減免件数及び減免額 15件 1,636,500円

財政支援：災害臨時特例交付金2割、特別調整交付金8割

◎軽減対象所得基準の引き上げ

令和2年度の制度改正により保険税の軽減の対象となる所得の基準が引き上げられた。

| | 改正前 | 改正後 |
|-------|------|---------------|
| 7割軽減分 | 10万円 | ⇒ 10万円 (据え置き) |
| 5割軽減分 | 28万円 | ⇒ 28万5千円 |
| 2割軽減分 | 51万円 | ⇒ 52万円 |

【軽減 (総所得金額が基準額以下の世帯)】

| 軽減割合 | 基準となる所得金額 |
|------|--|
| 7割軽減 | 基礎控除額 330,000 円 + {100,000 円 × (給与所得者の等数 - 1)} |
| 5割軽減 | 基礎控除額 330,000 円 + (285,000 円 × 被保険者数) + {100,000 円 × (給与所得者等の数 - 1)} |
| 2割軽減 | 基礎控除額 330,000 円 + (520,000 円 × 被保険者数) + {100,000 円 × (給与所得者等の数 - 1)} |

◎令和2年度国民健康保険税の税率及び課税限度額

| | | | |
|----------------------|-----|----------|----------|
| 医療分 (0歳~74歳) | 所得割 | 10.00 % | 限度額：63万円 |
| | 均等割 | 20,000 円 | |
| | 平等割 | 25,000 円 | |
| 後期高齢者支援分 (0歳~74歳) | 所得割 | 3.80 % | 限度額：19万円 |
| | 均等割 | 7,500 円 | |
| | 平等割 | 9,400 円 | |
| 介護分 (40歳~64歳) | 所得割 | 2.20 % | 限度額：17万円 |
| | 均等割 | 7,100 円 | |
| | 平等割 | 5,300 円 | |

最高限度額 99 万円

令和3年3月末現在

(単位：人・世帯) () 内は前年度

| 世帯数 | 被保険者数 | 軽減世帯 | | | | 課税限度額世帯 | | |
|--------------|--------------|--------------|------------|------------|--------------|----------|----------|----------|
| | | 7割軽減 | 5割軽減 | 2割軽減 | 計 | 医療分 | 後期分 | 介護分 |
| 472 (490) | 744 (799) | 195 (192) | 95 (91) | 67 (76) | 357 (359) | 4 (4) | 6 (8) | 3 (0) |

◎国民健康保険税の収入状況

(単位：円・%) () 内は前年度

| 項目 | 区分 | 調定額 | 収入済額 | 不能欠損額 | 収入未済額 | 収納率 |
|-------|-------|----------------------------|----------------------------|----------------------|----------------------------|----------------|
| 現年度分 | 医療分 | 40,783,749 (48,114,100) | 40,045,476 (46,848,288) | 0 (0) | 738,273 (1,265,812) | 98.1 (97.3) |
| | 後期支援分 | 15,250,461 (17,975,900) | 14,970,994 (17,496,593) | 0 (0) | 279,467 (479,307) | 98.1 (97.3) |
| | 介護分 | 4,387,290 (5,300,800) | 4,269,350 (5,061,836) | 0 (0) | 117,940 (238,964) | 97.3 (95.4) |
| 計 | | 60,421,500 (71,390,800) | 59,285,820 (69,406,717) | 0 (0) | 1,135,680 (1,984,083) | 98.1 (97.2) |
| 滞納繰越分 | 医療分 | 16,190,860 (16,982,621) | 1,604,325 (1,456,242) | 906,645 (453,479) | 13,679,890 (15,072,900) | 9.9 (8.5) |
| | 後期支援分 | 3,957,669 | 430,127 | 195,252 | 3,332,290 | 10.8 |

| | | | | | | |
|--|-------|----------------------------|----------------------------|------------------------|----------------------------|----------------|
| | | (4,011,682) | (378,017) | (99,296) | (3,534,369) | (9.4) |
| | 介 護 分 | 2,792,728 (2,899,517) | 301,081 (275,087) | 153,203 (38,225) | 2,338,444 (2,586,205) | 10.7 (9.4) |
| | 計 | 22,941,257 (23,893,820) | 2,335,533 (2,109,346) | 1,225,100 (591,000) | 19,350,624 (21,193,474) | 10.1 (8.8) |
| | 合計 | 83,362,757 (95,284,620) | 61,621,353 (71,516,063) | 1,225,100 (591,000) | 20,486,304 (23,177,557) | 73.9 (75.0) |

7. 使用料及び手数料

使用料及び手数料の収入は、所得証明書等を始め、字図や地籍図等の交付申請・閲覧、督促手数料などである。

調定額 509,900円、収入済額 509,900円、収納率 100%である。

8. 徴収及び滞納整理

日頃から新規の滞納者を発生させないために納付状況について逐一把握し、必要な徴収担当を配置して臨戸催告を中心に滞納対策を重点的に推進し、また徴収体制の強化を図るため、国税徴収法に基づき預金調査・預金差押・国税還付金等の差押え等の滞納処分を実施した。

◎各種差押

| | | |
|-------|-----|----------|
| 国税還付金 | 2件 | 41,500円 |
| 預金 | 3件 | 80,803円 |
| 給与 | 34件 | 718,000円 |
| 合計 | 39件 | 840,303円 |

悪質滞納者には厳しく催告を行い、法に基づいて捜索等を実施し、積極的に財産差し押さえに踏み切る必要がある。

納付の重要組織である納税組合は、その存続について令和3年1月に会議をおこない、本年度までと決定し、組合員に対しては口座振替勧奨に努めた。

◎令和2年度納税組合数 34組合 218名（全世帯の約18%）

取扱金額 約3,200万円（全税収入の約12%）

(1) 令和2年度不納欠損額 2,124,650円（前年度838,847円）

| 税目 | 不納欠損額 (円) | 対象者数 | 内 訳 (時効消滅) | | | | | |
|---------|--------------|------|------------|----|----------|----------|----------|-----|
| | | | 財産 処分 | 死亡 | 所在 不明 | 財産 調査 | 執行 停止 | その他 |
| 村民税 | 453,624 | 4 | — | — | — | — | 3 | 1 |
| 固定資産税 | 392,726 | 12 | — | 3 | 1 | — | 2 | 6 |
| 軽自動車税 | 23,200 | 3 | — | — | 2 | 1 | — | — |
| 国民健康保険税 | 1,255,100 | 4 | — | — | — | — | 3 | 1 |
| 計 | 2,124,650 | 23 | — | 3 | 3 | 1 | 8 | 8 |

9. 租税教育

小中学校の児童・生徒に対して、社会公共事業に対する理解を深め、租税についての正しい知識を養うとともに、遵法を精神を養うことにより、将来のより良い村民を育成することを目的として事業を行った。

(1) 税に関する作品（習字、作文、標語）の募集と表彰

人吉球磨地区租税教育推進協議会が「税に関する作品（習字、作文、標語）」を募集し、表彰を行っていることから、山江村でも山江村長賞を設け、併せて募集表彰を行った。

応募作品 80点（習字 80点）

- ・習字 人吉税務署長賞 山田小学校1年 山本 楓花
山江村長賞 山田小学校2年 横山 勇進

(2) 租税教室

山江村役場税務課職員が講師となり租税についての教育を行った。

- ・令和2年11月27日 山田小学校6年生 40名
- ・令和3年1月15日 万江小学校6年生 10名